

十年放送したときもそれを聞いておられ、お手紙をいただいでびっくりしたことがあるのですが、非常にお世話になったものでした。

旭川の第二師団長、上妻正康陸将をお訪ねしたときでした。師団長室で昼食のご馳走になっているとき、「自分の本名は中根です。弟は陸上自衛隊の一佐で中根正忠といい、久留米の幹部候補生の学校に勤めている」といわれたのでびっくりしたのです。中根家から上妻家に養子に行かれて上妻姓を名乗っておられたのです。中根といわれたので親戚かも知れないのです。それから「今日は連隊長会議をしているから後で二十分間、講演するように」といわれ講演したのですが、その講演の直後です。そこにおられた一人の人が私にノートを見せられたのです。それはスピードメモ法で書かれていたのです。以前、連隊長で今西という人がスピードメモ法を上手に使っておられるということを耳にしていたのですが、それがこの人だったのです。今西一典一佐でこのときは師団の幕僚長をしておられたのですが、上妻師団長も「どこにお弟子さんがいるかわからない」といって非常に感心しておられたのです。その後、第二師団には四つの連隊があるから、そこを回って講演してもらいたいといわれ行ったことがありますが、そのときは四十四年の三月で、名寄の連隊に行ったときなど、道路の両側には雪が三メートルぐらいも積っていてきびしい寒さでした。